

御名 御璽

明治四十年四月九日

和歌山縣紀伊國東牟婁郡佐本村ヲ同縣同國西牟婁郡ニ編入ス

附則

本法ハ明治四十年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

内閣總理大臣 侯爵 西園寺公望  
内務大臣 原 敬

勅

令

勅令

明治十九年

○第四十三號 五月十日

朕福島縣下越後國東蒲原郡管轄替ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治十九年五月十日

福島縣下越後國東蒲原郡ヲ新潟縣管轄トス

内閣總理大臣 伯爵 伊藤博文

明治二十年

○第七號 四月一日

朕鹿兒島縣下分郡ノ件ヲ裁可シ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十年四月一日

内閣總理大臣 伯爵 伊藤博文  
内務大臣 伯爵 山縣有朋

明治十一年七月第十七號布告郡區町村編制法ニヨリ鹿兒島縣下薩摩國伊佐郡同縣下大隅國大隅郡贈於郡ノ三郡ヲ左ノ通り分割ス

南伊佐郡 北伊佐郡 南大隅郡 北大隅郡 東贈嶽郡 西贈嶽郡

○第三十四號 七月十二日

朕愛知岐阜兩縣內管轄替ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十年七月十二日

内閣總理大臣 伯爵 伊藤博文  
内務大臣 伯爵 山縣有朋

愛知縣下尾張國海西郡松山中島村ヲ美濃國海西郡へ組替岐阜縣管轄トシ岐阜縣下美濃國中島郡東加賀野井村、三拾町村、拾町野村、馬飼村ノ四箇村ヲ尾張國中島郡へ組替愛知縣管轄トス

○第五十九號 十一月四日

朕奈良縣設置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十年十一月四日

内閣總理大臣 伯爵 伊藤博文  
内務大臣 伯爵 山縣有朋

奈良縣ヲ置ク

縣廳位置 大和國添上郡奈良

管轄 大和國一圓

明治二十一年

○第七十九號 十二月三日

朕香川縣設置ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十一年十二月三日

内閣總理大臣 伯爵 黒田清隆  
内務大臣 伯爵 松方正義

香川縣ヲ置ク

縣廳位置 讃岐國香川郡高松

管轄 讃岐國一圓

明治二十二年

○第三十二號 三月十二日

朕栃木縣寒川郡廢止ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十二年三月十二日

内閣總理大臣 伯爵 黒田清隆  
内務大臣 伯爵 松方正義

栃木縣下野國寒川郡ヲ廢止シ其町村ヲ同國下都賀郡ヘ編入ス

明治二十三年

○第二百十三號 九月二十五日

朕埼玉縣廳位置改定ノ件ヲ許可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十三年九月二十五日

埼玉縣廳位置左ノ通改定ス  
縣廳位置 武藏國北足立郡浦和町  
內閣總理大臣 伯爵 山縣有朋  
內務大臣 伯爵 西鄉從道

○第一百九十號 九月九日

明治二十四年

朕島嶼所屬名稱ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十四年九月九日

內閣總理大臣 伯爵 松方正義  
內務大臣 子爵 品川彌二郎

東京府管下小笠原島南西沖北緯二十四度零分ヨリ同二十五度三十分東經百四十一度零分ヨリ同百四十一度三十分ノ間ニ散在スル三島嶼ヲ小笠原島ノ所屬トシ其中央ニ在ルモノヲ硫黃島ト稱シ其南ニ在ルモノヲ南硫黃島其北ニ在ルモノヲ北硫黃島ト稱ス

明治二十九年

○第十三號 三月五日

朕沖繩縣ノ郡編制ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年三月五日

內閣總理大臣 侯爵 伊藤博文  
內務大臣 芳川顯正

第一條 那霸首里兩區ノ區域ヲ除ク外沖繩縣ヲ畫シテ左ノ五郡トス

島尻郡 島尻各間切久米島慶良間諸島渡名喜島粟國島伊平屋諸島島島及大東島

中頭郡 中頭各間切

國頭郡 國頭各間切及伊江島

宮古郡 宮古諸島

八重山郡 八重山諸島

第二條 郡ノ境界若クハ名稱ヲ變更スルコトヲ要スルトキハ內務大臣之ヲ定ム

附則

第三條 本令施行ノ時期ハ内務大臣之ヲ定ム(本令ハ二十九年三月十日内務省令第二〇號ヲ以テ同年四月一日ヨリ施行セラル)  
○第二百六十七號 七月十日

朕大阪市ノ區ノ區域變更ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治二十九年七月十日

内閣總理大臣臨時代理

樞密院議長 伯爵 黒田 清隆

内務大臣 伯爵 板垣 退助

大阪市ノ區ノ區域ヲ變更スルコト左ノ如シ

一 大阪市西區ニ左ノ區域ヲ編入ス

一元西成郡九條村

一元西成郡三軒屋村

一元西成郡天保町

一元西成郡川南村ノ内木津川以西

一元西成郡川北村ノ内傳法川以南

一元西成郡傳法村大字北傳法ノ内字東明石島及大字南傳法ノ内字南十ノ湖堤防敷地及其ノ以西

二 大阪市南區ニ左ノ區域ヲ編入ス

一元西成郡西濱町

一元西成郡難波村

一元西成郡木津村ノ内勝間街道ヨリ西ハ字高畑字東開ノ北ヲ通スル道路南端以北及字開キ東ノ繩ヨリ開キ大繩ニ達スル井路以北、勝間街道ヨリ東ハ大阪鐵道線敷地南端以北

一元西成郡今宮村ノ内大阪鐵道線敷地南端以北

一元東成郡天王寺村ノ内大阪鐵道線路中本線ト城東縣ト分岐スル所ヨリ西ハ線路敷地南端以北、本線ト城東縣ト分岐スル所ヨリ北ハ城東線敷地東端以西

一元東成郡生野村大字國分ノ内大阪鐵道城東線敷地東端以西

三 大阪市東區ニ左ノ區域ヲ編入ス

一元東成郡西高津村

一元東成郡東平野村

一元東成郡清堀村

一元東成郡玉造町

一元東成郡鶴橋村ノ内大阪鐵道線路城東線ト猫間川ト接スル所ヨリ南ハ城東線敷地東端以西城東線ト猫間川ト接スル所ヨリ北ハ猫間川以西

一元東成郡中本村ノ内猫間川以西

四 大阪市北區ニ左ノ區域ヲ編入ス

- 一元西成郡北野村
- 一元西成郡會根崎村
- 一元西成郡上福島村
- 一元西成郡下福島村
- 一元西成郡川崎村ノ内字西流山惡水路ノ右岸以南
- 一元西成郡野田村ノ内中津川以東
- 一元西成郡豐崎村ノ内大字國分寺、大字本庄ノ内字東流山千五十一番地以南字東流山ト字積樂トノ間ヲ通スル惡水路ノ右岸以南字浮田八百二十四番地ノ北ヨリ字上中野四百七十六番地ノ北ニ通スル道路ノ北端以南字南中野四百五番地以南字三味ノ側二百九十一番地乃至二百九十三番地以南及大字南濱ノ内字蘆原運田及石橋ヲ通スル惡水路ノ右岸以南
- 一元東成郡鉦江村ノ内大阪鐵道線路城東線敷地東端以西
- 一元東成郡都島村ノ内大字善源寺字九ヶ惡水路ノ右岸以南
- 一元東成郡野田村ノ内字東七反田ノ西ヲ通スル井路ノ左岸以西

附則

本令ハ明治三十年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十年

○第三百九十五號 十月三十日

朕北海道廳支廳ノ名稱位置及管轄區域ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十年十月三十日

内務大臣 伯爵 樺山資紀

北海道廳支廳ノ名稱位置及管轄區域別表ノ通定ム

附則

本令ハ明治三十年勅令第三百九十二號北海道廳官制施行ノ日ヨリ施行ス

(別表)

名 稱	位 置	管 轄 區 域
北海道廳 札幌支廳	石狩國 札幌區大通西三丁目	札幌區、札幌郡、千歲郡、石狩郡、厚田郡、濱益郡
北海道廳 函館支廳	渡島國 函館區元町	函館區
北海道廳 龜田支廳	渡島國 龜田郡七飯郡	龜田郡、上磯郡、茅部郡、山越郡
北海道廳 松前支廳	渡島國 松前郡福山河原町	松前郡
北海道廳 檜山支廳	渡島國 檜山郡江差中歌町	檜山郡、爾志郡、久遠郡、奥尻郡、太櫛郡、瀬棚郡
北海道廳 蔭都支廳	後志國 蔭都郡蔭都渡島町	蔭都郡、島牧郡、歌葉郡、磯谷郡
北海道廳 岩内支廳	後志國 岩内郡御鉾内町	岩内郡、古宇郡
北海道廳 小樽支廳	後志國 小樽郡量徳町	小樽郡、高島郡、忍路郡、余市郡、古平郡、美園郡、積丹郡

北海道廳空知支廳	石狩國 空知郡岩見澤村	空知郡、夕張郡、雨龍郡、樺戶郡
北海道廳上川支廳	石狩國 上川郡旭川村	上川郡 <small>石狩國</small>
北海道廳増毛支廳	天鹽國 増毛郡永壽町	増毛郡、留萌郡、苫前郡、天鹽郡、中川郡、上川郡 <small>天鹽國</small>
北海道廳宗谷支廳	北見國 宗谷郡稚内村	宗谷郡、枝幸郡、利尻郡、禮文郡
北海道廳網走支廳	北見國 網走郡北見町	網走郡、斜里郡、常呂郡、紋別郡
北海道廳室蘭支廳	廳振國 室蘭郡札幌通	室蘭郡、有珠郡、虻田郡、幌別郡、勇拂郡、白老郡
北海道廳浦河支廳	日高國 浦河郡浦河村	浦河郡、沙流郡、新冠郡、静内郡、三石郡、様似郡、幌泉郡
北海道廳釧路支廳	釧路國 釧路郡真砂町	釧路郡、白糠郡、足寄郡、阿寒郡、川上郡、厚岸郡
北海道廳河西支廳	十勝國 河西郡下帯廣村	河西郡、河東郡、上川郡 <small>十勝國</small> 、中川郡、十勝郡、當縁郡、廣尾郡
北海道廳根室支廳	根室國 根室郡常盤町	根室郡、花咲郡、野付郡、標津郡、目梨郡、國後郡、色丹郡、得撫郡、新知郡、占守郡
北海道廳紗那支廳	千島國 紗那郡紗那村	紗那郡、振別郡、擇捉郡、蔭取郡

明治三十一年

○第九十一號 五月八日

朕明治三十年勅令第三百九十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年五月八日

内務大臣 侯爵 西郷 從道

明治三十年勅令第三百九十五號別表中左ノ通改正ス

北海道廳岩内支廳ノ部管轄區域ノ欄古宇郡ノ下ニ「虻田郡ノ内俱知安村」ヲ加フ

北海道廳空知支廳ノ部管轄區域ノ欄空知郡ノ下ニ「室良野村」ヲ加フ

北海道廳上川支廳ノ部管轄區域ノ欄上川郡石狩國ノ下ニ「空知郡ノ内富良野村、上川郡天鹽國」ヲ加フ

北海道廳増毛支廳ノ部管轄區域ノ欄「上川郡天鹽國」ヲ削ル

北海道廳室蘭支廳ノ部管轄區域ノ欄「虻田郡ノ下ニ「俱知安村」ヲ加フ

附則

本令ハ明治三十二年五月二十日ヨリ施行ス。

○第三百八十五號 九月十五日

朕明治三十年勅令第三百九十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十二年九月十五日

内務大臣 侯爵 西郷 從道

明治三十年勅令第三百九十五號中左ノ通改正ス

北海道廳札幌支廳ノ部管轄區域ノ欄「札幌區」ヲ削ル

北海道廳函館支廳ノ全欄ヲ削ル

附則

「北海道廳龜田支廳」ヲ「北海道廳函館支廳」ニ改メ位置ノ欄「渡島國龜田郡七飯村」ヲ「渡島國函館區元町」ニ改ム

本令ハ明治三十二年十月一日ヨリ施行ス

明治三十三年

○第九十四號 三月三十日

朕島地指定ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十三年三月三十日

第一條 地方官官制第四十九條ニ依リ左ノ島地ヲ指定ス

一 東京府大島

二 東京府八丈島 小島 青ヶ島 鳥島

第二條 大島ニ置ク島廳ヲ大島島廳ト稱シ八丈島、小島、青ヶ島、鳥島ニ置ク島廳ヲ八丈島島廳ト稱ス

附則

本令ハ明治三十三年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

内閣總理大臣 侯爵 山縣 有朋  
内務大臣 侯爵 西郷 從道

明治三十四年

○第十三號 三月十六日

朕明治三十年勅令第三百九十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十四年三月十六日

明治三十年勅令第三百九十五號中左ノ通改正ス

別表中北海道廳上川支廳ノ部管轄區域ノ欄「上川郡天鹽」ノ下ニ「中川郡天鹽」ヲ加ヘ北海道廳増毛支廳ノ部管轄區域ノ欄中「中川郡」ヲ削ル

内務大臣文學博士 男爵 末松 謙澄

附則

本令ハ明治三十四年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治三十六年

○第二百八十四號 十二月二十一日

朕明治三十年勅令第三百九十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十六年十二月二十一日

明治三十年勅令第三百九十五號別表中左ノ通改正ス

北海道廳函館支廳ノ項管轄區域ノ欄「山越郡」ノ下ニ「松前郡」ヲ加フ  
北海道廳松前支廳ノ項ヲ削ル

内務大臣 伯爵 桂 太郎



北海道廳根室支廳ノ項管轄區域ノ欄「占守郡」ノ下ニ「紗那郡、振別郡、擇捉郡、藥取郡」ヲ加フ  
北海道廳紗那支廳ノ項ヲ削ル

明治三十九年

○第二十三號 二月二十日

朕北海道ニ於ケル郡ノ廢止及郡界ノ變更ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年二月二十日

内務大臣 原 敬

北海道十勝國當縁郡ヲ廢止シ其ノ區域ニ屬スル歷舟村、大樹村及當縁村ノ内「ホロカヤント」沼ト當縁川トノ間ノ海岸ヨリ該沼川ノ中間ニ在ル高丘ノ中央ヲ上リ「オイカマナイ」川ト當縁川トノ間ニ在ル分水嶺ヲ趁テ中川郡界ニ至ル以西ヲ十勝國廣尾郡ニ當縁村ノ内其ノ以東ヲ十勝國十勝郡ニ編入ス

附則

本令ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

○第五十四號 三月三十一日

朕明治三十年勅令第三百九十五號中改正ノ件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治三十九年三月三十一日

内務大臣 原 敬

明治三十年勅令第三百九十五號別表中左ノ通改正ス  
北海道廳上川支廳ノ項「中川郡」ノ下ニ「勇拂郡」ノ内占冠村「ヲ加フ  
北海道廳室蘭支廳ノ項「勇拂郡」ノ下ニ「占冠村」ヲ加フ  
北海道廳河西支廳ノ項「當縁郡」ヲ削ル

附則

本令ハ明治三十九年四月一日ヨリ之ヲ施行ス

明治四十年

○第四十五號 三月十五日

朕沖繩縣間切島並東京府伊豆七島及小笠原島ニ於ケル名稱及區域ノ變更等ニ關スル件ヲ裁可シ茲ニ之ヲ公布セシム

御名 御璽

明治四十年三月十五日

内閣總理大臣 侯爵 西園寺公望  
内務大臣 原 敬

第一條 沖繩縣ノ間切島ハ之ヲ村ト改メ東京府伊豆七島中利島神津島、御藏島、青ヶ島、大島、波浮港及八丈島、大賀郷中ノ郷ニ村ノ名稱ヲ附ス  
村ノ行政ニ付テハ從前ノ例ニ依ル  
第二條 間切島内ノ村又ハ島ハ字トシテ其ノ名稱ヲ存ス

東京府伊豆七島及小笠原島ニ於テ村ト稱セサル島ハ從來管轄ヲ同フシタル村ノ一部ヲ成シ大字トシテ其ノ名稱ヲ存ス

第三條 村ヲ廢置分合シ其區域名稱ヲ變更シ又ハ村ヲ町ト爲スコトヲ要スルトキハ内務大臣ノ許可ヲ得テ府縣知事之ヲ定ム  
其合併セラレタル村ノ名稱ニ付テハ前條ノ例ニ依ル

前項ノ爲メ財產處分ヲ要スルトキハ關係アル村會ノ意見ヲ徵シ府縣知事之ヲ定ム

附則

本令施行ノ地域及期日ハ府縣知事ノ具申ニヨリ内務大臣之ヲ定ム

閣 令

明 治 十 九 年

○第三十七號 十二月二十八日

北海道廳函館根室支廳ヲ廢ス

明治十九年十二月二十八日

内閣總理大臣 伯爵 伊藤 博文

内務省令

明治三十一年

○第四十四號 八月二十二日

北海道區制明治三十一年十月一日ヨリ施行ス但其施行ノ地ハ追テ指定ス

明治三十一年八月二十二日

内務大臣 侯爵 西郷從道

○第四十六號 九月四日

北海道區制第百十二條ニ依リ區制施行地ヲ左ノ通指定ス但現在ノ町村名ハ大字トシテ之ヲ存ス

明治三十二年九月四日

内務大臣 侯爵 西郷從道

名稱	區	域
函館區	函館區	字 村 内 字 湯 川 通 字 コミ川ノ内 字 六軒家ノ内
函館區	函館區	字 大川通ノ内 字 柏 野 字 有川通ノ内 字 鍛冶村通ノ内
函館區	函館區	字 五稜廓通 字 十文字 字 札幌通 字 前 濱
函館區	函館區	字 陳屋通 字 村内川東 字 八幡社後手 字 萬年橋脇
函館區	函館區	字 千代ヶ岱 字 萬年橋 字 田家ノ内

小樽區		小樽郡ノ内		若竹町	勝納町	潮見臺町	新富町	真榮町
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	高島郡ノ内	北濱町	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字
川原町	高砂町	土場町	芝居町	新地町	信香裏町	北濱町	高島村ノ内字	高島村ノ内字

明治四十年十月十二日

○第二十四號

明治四十年勅令第四十五號ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ沖繩縣ニ施行ス

明治四十年十月十二日

內務大臣

原

敬

○第二十九號 十二月二十八日

明治四十年勅令第四十五號ハ明治四十一年一月一日ヨリ之ヲ東京府大島及八丈島ニ施行ス

明治四十年十二月二十八日

內務大臣

原

敬

參照 明治四十年勅令第四十五號ハ沖繩縣同切島並ニ東京府伊豆七島及小笠原ニ於ケル名稱及區域ノ變更等ニ關スル件

### 內務省告示

明治二十二年

○第一號 二月二日

明治二十二年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ市制施行地左ノ通指定ス

明治二十二年二月二日

內務大臣 伯爵 松方正義

#### 市制施行地

東京府管下	東京	京都府管下	京都	大阪府管下	大阪、堺
神奈川縣管下	横浜	兵庫縣管下	神戸、姫路	長崎縣管下	長崎
新潟縣管下	新潟	茨城縣管下	水戸	三重縣管下	津
愛知縣管下	名古屋	静岡縣管下	静岡	宮城縣管下	仙臺
巖手縣管下	盛岡	青森縣管下	弘前	山形縣管下	山形、米澤
秋田縣管下	秋田	福井縣管下	福井	石川縣管下	金澤
富山縣管下	富山、高岡	島根縣管下	松江	岡山縣管下	岡山
廣島縣管下	廣島	山口縣管下	赤間關	和歌山縣管下	和歌山
德島縣管下	德島	香川縣管下	高松	愛媛縣管下	松山
高知縣管下	高知	福岡縣管下	福岡、久留米	熊本縣管下	熊本

鹿兒島縣管下 鹿兒島

○第十號 三月十八日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ佐賀縣管下佐賀ヲ市制施行地ニ指定ス

明治二十二年三月十八日

(二十二年四月一日施行)

内務大臣 伯爵 松方正義

○第十八號 六月十日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ岐阜縣管下岐阜、山梨縣管下甲府ヲ市制施行地ニ指定ス

明治二十二年六月十日

(二十二年七月一日施行)

内務大臣 伯爵 松方正義

○第二十四號 九月十一日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ鳥取縣管下鳥取ヲ市制施行地ニ指定ス

明治二十二年九月十一日

(二十二年十月一日施行)

内務大臣 伯爵 松方正義

明治二十四年

○第四十九號 十月九日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ據リ群馬縣東群馬郡前橋町ヲ市制施行地ニ指定シ明治二十五年四月一日ヨリ市

制ヲ施行ス

明治二十四年十月九日

内務大臣 子爵 品川彌二郎

明治二十九年

○第二十八號 三月二日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ栃木縣河内郡宇都宮町ヲ市制施行地ニ指定シ明治二十九年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治二十九年三月二日

内務大臣 芳川顯正

明治三十年

○第二十一號 三月八日

明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニ依リ明治三十年四月一日ヨリ長野縣上水内郡長野町ヲ市ト爲ス

明治三十年三月八日

内務大臣 伯爵 樺山資紀

○第四十八號 七月六日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ三重縣三重郡四日市町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十年八月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治三十年七月六日

内務大臣 伯爵 樺山資紀

明治三十一年

○第三號 一月二十日

明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニ依リ明治三十一年二月一日ヨリ奈良縣添上郡奈良町ヲ市ト爲ス

内務大臣 子爵 芳川 顯正

○第十一號 二月十二日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ廣島縣御調郡尾道町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十一年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

内務大臣 子爵 芳川 顯正

○第十三號 二月十九日

明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニヨリ明治三十一年四月一日ヨリ青森縣東津輕郡青森町ヲ市ト爲ス

内務大臣 子爵 芳川 顯正

○第七十號 七月二十七日

明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニヨリ明治三十一年十月一日ヨリ滋賀縣滋賀郡大津町ヲ市ト爲ス

内務大臣 伯爵 板垣 退助

○第九十五號 九月二十四日

明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニ依リ明治三十二年四月一日ヨリ福島縣北會津郡若松町ヲ市ト爲ス

明治三十一年九月二十四日  
○第二百二十四號 十二月六日  
明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニヨリ香川縣那珂郡丸龜町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十二年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス  
内務大臣 伯爵 板垣 退助

明治三十一年十二月六日  
○第三百三十五號 十二月二十八日  
明治二十三年法律第三十六號郡制第二條ニ依リ明治三十二年四月一日ヨリ福岡縣企救郡門司町ヲ市ト爲ス  
内務大臣 侯爵 西郷 從道

明治三十三年

○第十五號 三月一日  
明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニヨリ福岡縣企救郡小倉町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十三年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス  
内務大臣 侯爵 西郷 從道

○第十六號 三月一日  
明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ群馬縣群馬郡高崎町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十三年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治三十三年三月一日

內務大臣 侯爵 西郷 從道

明治三十五年

○第十五號 三月十九日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ長崎縣東彼杵郡佐世保村ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十五年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 男爵 内海 忠勝

○第六十三號 十月一日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ廣島縣安藝郡吳町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十五年十月一日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 男爵 内海 忠勝

明治三十五年九月一日

明治三十九年

○第三十二號 三月三十日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ新潟縣古志郡長岡町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十九年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 原 敬

明治三十九年三月三十日

○第六十三號 七月五日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ三重縣度會郡宇治山田町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十九年九月一日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 原 敬

明治三十九年七月五日

○第六十四號 七月五日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ愛知縣渥美郡豊橋町ヲ市制施行地ニ指定シ明治三十九年八月一日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 原 敬

明治三十九年七月五日

明治四十年

○第七號 一月二十九日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ神奈川縣三浦郡横須賀町ヲ市制施行地ニ指定シ明治四十年二月十五日ヨリ市制ヲ施行ス

內務大臣 原 敬

明治四十年一月二十九日

○第二十三號 三月八日

明治二十一年法律第一號市制第二百二十六條ニ依リ福島縣信夫郡福島町ヲ市制施行地ニ指定シ明治四十年四月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治四十年三月八日

內務大臣 原 敬

○第四十五號 四月十六日

明治二十二年法律第一號市制第二百二十六條ニヨリ長野縣東筑摩郡松本町ヲ市制施行地ニ指定シ明治四十年五月一日ヨリ市制ヲ施行ス

明治四十年四月十六日

內務大臣 原 敬

其他

明治五年

○九月十四日 (開拓使)

開拓使本廳ヲ札幌ニ置キ支廳ヲ各所ニ設ク

開拓使伺

當使管内ノ僻ハ地方數百里ニ連互仕道路遠遠ノ故ヲ以テ報告ノ遲速處事齟齬ノ憂モ少ナカラサル儀モ御座候殊更樺太州ハ冬間ニ相至リ凍塞ノタメ緩急トモ往復可仕様無之場所柄ニテ往々不都合ノ儀モ御座候ニ付今般更ニ北海全道十 國並樺太州ヲ合セ六大部ニ區分仕札幌ヲ本廳ト相定メ每部支廳ヲ設ケ置キ大中小判官ノ内ヲ以テ各自其部内ヲ管理イタナセ重大事件ヲ除クノ外常例成規ニ則リ檢斷施行セシメ候ハ、遠近懸絶ノ地方ニ有之候トモ報告ノ遲速處事ノ齟齬ハ勿給政令一途ノ御趣意ニモ相適ヒ自然風土民情適宜ノ處分モ出來可申ト奉存候依テ別紙各廳分轄國郡調書相添此段奉伺候也 (八月二十八日)

伺之通 (九月十四日)

(別紙)

北海道各分廳所轄國郡調

札幌本廳分轄

- 石狩國 札幌郡 石狩郡 厚田郡 濱益郡 夕張郡 樺戶郡 空知郡
- 雨龍郡 上川郡



後志國ノ内	小樽郡	高島郡	余市郡	美國郡	積丹郡	古平郡	忍路郡
膽振國ノ内	岩内郡	古宇郡	有珠郡	室蘭郡	幌別郡	勇拂郡	白老郡
函館支廳分轄	虻田郡	室蘭郡	幌別郡	勇拂郡	白老郡	千歳郡	
通計二十五郡							
渡島國ノ内	龜田郡	茅部郡	上磯郡ノ内				
後志國ノ内	久遠郡	奥尻郡	太櫛郡	瀬棚郡	壽都郡	島牧郡	歌棄郡
膽振國ノ内	磯谷郡						
上越郡							
通計十二郡							
根室支廳分轄							
根室國	花咲郡	根室郡	野付郡	標津郡	目梨郡		
千島國	國後郡	振別郡	擇捉郡	紗那郡	藥取郡		
北見國ノ内	紋別郡	常呂郡	斜里郡	網走郡			
釧路國	網走郡	白糖郡	足寄郡	釧路郡	阿寒郡	川上郡	厚岸郡
通計二十一郡							
宗谷支廳分轄							

天鹽國	増毛郡	留萌郡	荳前郡	天鹽郡	中川郡	上川郡
北見國ノ内	宗谷郡	枝幸郡	利尻郡	禮文郡		
通計十郡						
浦河支廳分轄						
日高國	沙流郡	新冠郡	静内郡	三石郡	浦河郡	襟似郡
十勝國	廣尾郡	當縁郡	十勝郡	上川郡	中川郡	河西郡
通計十四郡						
樺太支廳分轄						
樺太州						

明治六年

○二月二十五日 (開拓使)

宗谷支廳ヲ天鹽國留萌郡へ移ス

開拓使伺

常使宗谷支廳所轄十郡ノ内天鹽以北ハ人煙稀少南方諸郡ト相異リ事務自ラ簡易ニ御座候處宗谷ハ北方ニ編居シ南方冬端ノ事務取扱不便利ノ麻不少候ニ付今般天鹽國留萌郡へ轉廳更ニ留萌支廳ト改稱仕度此段奉伺候也(二月十七日)

伺之通 (二月二十五日)

明治七年

○五月十四日 (開拓使)

開拓使管下浦川支廳ヲ廢ス

開拓使伺

當使國管内ヲ六大部ニ區分致シ其一ヲ浦川支廳ニ屬隸シ日高國七郡並十勝國七郡ノ事務同廳ニ於テ管理致來候處右地方ハ札幌ノ隣境且未タ人煙繁殖ニ至ラサル處多ク一支廳ヲ設候ハ冗費ニ屬シ候ニ付右支廳相廢シ本廳へ合併致度候條至急御允裁有之度此段奉伺候也 (五月三日)

伺之通 (五月十四日)

明治八年

○三月十六日 (開拓使)

留萌支廳ヲ廢シ本廳へ合併

開拓使伺

當使國管内ヲ五大部ニ區分致シ其ノ一ヲ留萌支廳ニ隸シ天鹽國六郡並北見國四郡ノ事務同廳ニ於テ管理致シ來候處右地方ハ札幌ノ隣境ニシテ追々本廳ノ體裁モ相立目今同地方併管致シ候共事務紛錯ノ患無之從テ入費モ相減シ勞々便利ニ付右支廳相

廢シ本廳へ合併致度候條至急御允裁有之度此段奉伺候也 (八年二月二十四日開拓)

伺之趣聞届候事 (八年三月十六日)

○十一月二十日 (開拓使)

樺太支廳ヲ廢ス

開拓使上申

當使元所管樺太州今般クタル諸島ト交換トシテ魯國政府へ讓與相成候ニ付同所支廳相廢候條此段御届仕候也 (八年十一月二十日)

明治九年

○三月十日 (開拓使)

小笠原島事務局ヲ内務省中へ設置セシム附該局官員月給別途下附ヲ乞フ准サス

外務外三省伺

小笠原島着手ニ付昨年十一月中同島ノ實況探偵トシテ外務内務大藏海軍ノ四省ヨリ官員被差遣同十二月中歸京ノ上實地ノ様子復命ノ具狀本年一月二十四日上進候所出張官員見込ノ次第御採用可相成候條先以テ各國公使へ該島處分ノ手續等可及談判但諸規則方法等ハ實地所見ノ趣ニ基キ四省協議ノ上詳細取調更ニ可伺出御指令有之候ニ付右規則等現今專ラ取調中ニテ各國公使へ關シ候談判ハ外務省ノ主務土地保護ノ方法ハ内務省ノ管掌稅則ニ關シ候儀ハ大藏省ノ擔當ニテ夫々取調ノ上尙四省協議ヲ盡シ候儀ハ勿論ノ事ニ候へ共彌着手施行ノ上永世維持ノ見込ニ付テハ「末ノ件々モ少ナカラス然ルニ擔任ノ省有之毎

年四省ノ合議ニ涉候テハ各省懸隔往復ノ時間ヲ費シ事務遷延ハ勿論不便ヲ極メ候ニ付四省ノ内主務撥ノ省有之其省ニオイテ當分ノ内小笠原島事務局ヲ取設ケ四省主任ノ官員此局へ出頭協議ヲ盡シ候ハ、自然事務貫徹致シ可然ト存シ候間右主省被命候様仕度此段相伺候也 (三月四日)

伺之趣ハ内務省主任ト相心得事務局同省へ設置可致事 (三月十日)

明治十一年

○十一月二日 (東京府)

本年太政官第十七號公布ニ依リ従前ノ大小區劃ヲ廢シ區郡名稱區域別冊ノ通相定候條此旨布達候事 (別冊略ス)

明治十一年

○七月二十三日 (開拓使)

明治十一年七月第十七號布告郡區編制法ニ據リ當使管内従前ノ大小區相廢シ更ニ郡區町村別冊ノ通り編制候條此旨布達候事  
開拓使本廳管下

札幌區 石狩國札幌郡札幌市志通ニ區役所ヲ置キ札幌市街及札幌郡一區ヲ管ス

開拓使函館支廳管下

函館區 渡島國函館郡函館元町ニ區役所ヲ置キ函館市街一區ヲ管ス

(以下略ス)

明治二十一年

○(四月二十一日官報)

静岡縣遠江國榛原郡神谷村、城東郡西深谷村ノ兩村ヲ合併シテ榛原郡神谷城村ト改稱ス

○(五月四日官報)

大阪府河内國河内郡客坊村、五條村、喜里川村ノ三村ヲ合併シテ河内村ト改稱シ同國濠川郡六反村ヲ同國丹北郡六反村ニ合併ス

明治二十一年

○(七月四日官報)

京都府愛宕郡南禪寺村外八箇村竝ニ同郡岡崎村、聖護院村、粟田口村、主會山ヲ京都市街地ニ編入シ其ノ村名ヲ改稱シ及組ヲ置キ其ノ所屬町ヲ定メタリ即チ京都上京區第三十四組ヲ新置シ愛宕郡南禪寺村、淨土寺村、聖護院村、粟田口村、鹿ヶ谷村、岡崎村、吉田村ヲ孰モ町ト改稱シテ其ノ所屬トシ又京都下京區第三十三組ヲ新置シ愛宕郡今熊野村、清閑寺村ヲ改稱シテ孰モ町トナシ其ノ所屬トナセリ

明治二十二年

○(三月六日官報)

兵庫縣管下攝津國武庫郡川面、見佐村ヲ同國川邊郡へ播磨國印南郡加古川町及西河原、稻屋、友澤、木村ヲ同國加古郡へ志吹、唐端新、大釜、北野新、清住新、大釜新村ヲ同國飾東郡へ同國揖東郡打越村ヲ同國飾西郡へ北龍野村ヲ同國揖西郡へ同國揖西郡富永、四箇、大道、濱田村ヲ同國揖東郡へ野瀬村ヲ同國赤穂村へ同國神西郡森垣、真弓村ヲ但馬國朝來郡へ但馬國二方郡、岡村ヲ同國七美郡へ孰モ編入シ來ル四月一日ヨリ施行ス

○(三月六日官報)

和歌山縣管下海部郡小雜賀村ヲ名草郡ニ伊都郡上番村ヲ那賀郡ニ編入シ和歌山及各郡町村ノ内ヲ分合改稱シ來ル四月一日ヨリ施行ス

○(三月十九日官報)

栃木縣管下鹽谷郡ノ内那須開墾地千三百五十七町七段三畝十四歩ヲ那須郡那須野村へ編入

○(三月二十二日官報)

山形縣管下羽後國飽海郡小出新田村、堤新田村ヲ羽前國東田川郡へ南村山郡陣場新田ヲ東村山郡へ北村山郡今町村ヲ東村山郡へ東置賜郡窪田村、金谷村ヲ南置賜郡へ南置賜郡奥山村ヲ東置賜郡今泉村、歌丸村、河井村ヲ西置賜郡へ編入ス

○(三月二十二日官報)

大分縣管下豊後國日田郡長尾野村ヲ豊前國下毛郡へ編入シ來ル四月一日ヨリ施行ス

○(四月五日官報)

宮城縣管下陸前國登米郡石趣村ト岩手縣管下陸中國西磐井郡蝦島村トニ係ル飛地ノ所屬組替國郡境界ヲ更定ス

○(十二月三日官報)

愛媛縣下伊豫國久米、下浮穴、伊豫、喜多四郡ノ境界ヲ變更ス

明治二十四年

○(三月二十八日官報)

兵庫縣播磨國赤穂郡矢野村ノ内二柏野村ヲ同國揖西郡西栗栖村へ合併

○(九月二十二日官報)

青森縣西津輕郡深浦村沖合凡ソ二十九哩ノ洋中ニ點在セル久六島ト稱スル島嶼 北緯四十五度三十一分東經百三十九度三十一分ハ元來同郡所屬ナリシモ地籍上脱漏セルニ依リ本年四月深浦村地籍ニ編入セリ

明治三十一年

○八月十三日(東京府)

東京府管下島島ハ自今小笠原島々廳所屬ニ編入ス

明治三十一年

○七月二十四日(東京府)

北緯二十四度十四分東經百五十四度ニ在ル島嶼ヲ南島島ト稱シ自今東京府所屬ト爲シ小笠原島々廳所屬ニ編入ス

明治三十一年

○七月十八日

岡山縣管下御野郡古鹿田村ノ内一部ト上道郡三權村トヲ岡山市ニ編入ス(本局編纂ノ郡市町村廢置分合表ニ據ル)

明治三十三年

○七月一日

北海道廳根室支廳根室國花咲郡花咲村ト友知村ヲ同國根室郡根室町ニ屬ス(同上)

明治三十四年

○四月一日

神奈川縣管下武藏國久良岐郡ノ内戸太町本牧村中村根岸村及同國橋樹郡神奈川町ヲ横濱市ニ編入シ三十四年四月一日ヨリ實施(同上)

明治三十五年

○四月一日

大阪府管下河内國北河内郡今津村ヲ攝津國東成郡榎木村ニ合併シ更ニ榎木村ト改稱ス(同上)

○四月五日

山口縣管下長門國豐浦郡赤間關市ヲ下ノ關市ト改稱シ同年六月一日ヨリ實施(同上)

明治三十六年

○三月三十一日

岐阜縣管下美濃國稻葉郡上加納村ヲ岐阜市ニ編入シ同年四月一日ヨリ實施(同上)

○七月八日(北海道廳)

北海道廳管下石狩國空知郡富良野村ノ南方ヲ割キ下富良野村ヲ置シ其ノ境界左ノ如シ

但圖面ハ所轄戶長役場ニ備置シ

○十二月二十六日

島根縣管下隱岐國穗地郡伊後村ヲ同國周吉郡ニ編入シ三十七年四月一日ヨリ實施(本局編纂郡市町村廢置分合表ニ據ル)

○十二月二十六日

島根縣管下隱岐國周吉郡蛤木村ヲ同國隱地郡都方村ニ編入シ三十七年四月一日ヨリ實施(同上)

明治四十年

○四月十八日

愛媛縣管下尾張國愛知郡熱田町ヲ四十年四月十八日名古屋市ニ編入シ同年六月一日ヨリ實施(同上)

○九月十一日

神奈川縣管下相模國鎌倉郡藤澤大宮町ヲ同國高座郡藤澤大坂町へ編入シ同年十月一日ヨリ實施 (同上)

明治四十一年

○四月一日

愛知縣管下名古屋市ニ於テ明治三十三年勅令第九十八條ニ依リ明治四十一年四月一日ヨリ左記ノ區ヲ設置ス (同上)

西區 東區 中區 南區 (町名省畧)

○八月 日不詳 (東京府)

東京府管下中ノ島島ヲ小笠原島島廳所轄ニ屬ス

明治四十三年七月廿九日印刷

明治四十三年八月一日發行

第一編 第二編 第三編 正價金參圓五拾錢

東京統計協會出版部

發行者 中野 太三郎

東京市京橋區山城町六番地

電話新橋二千九百九十九番

忠愛社

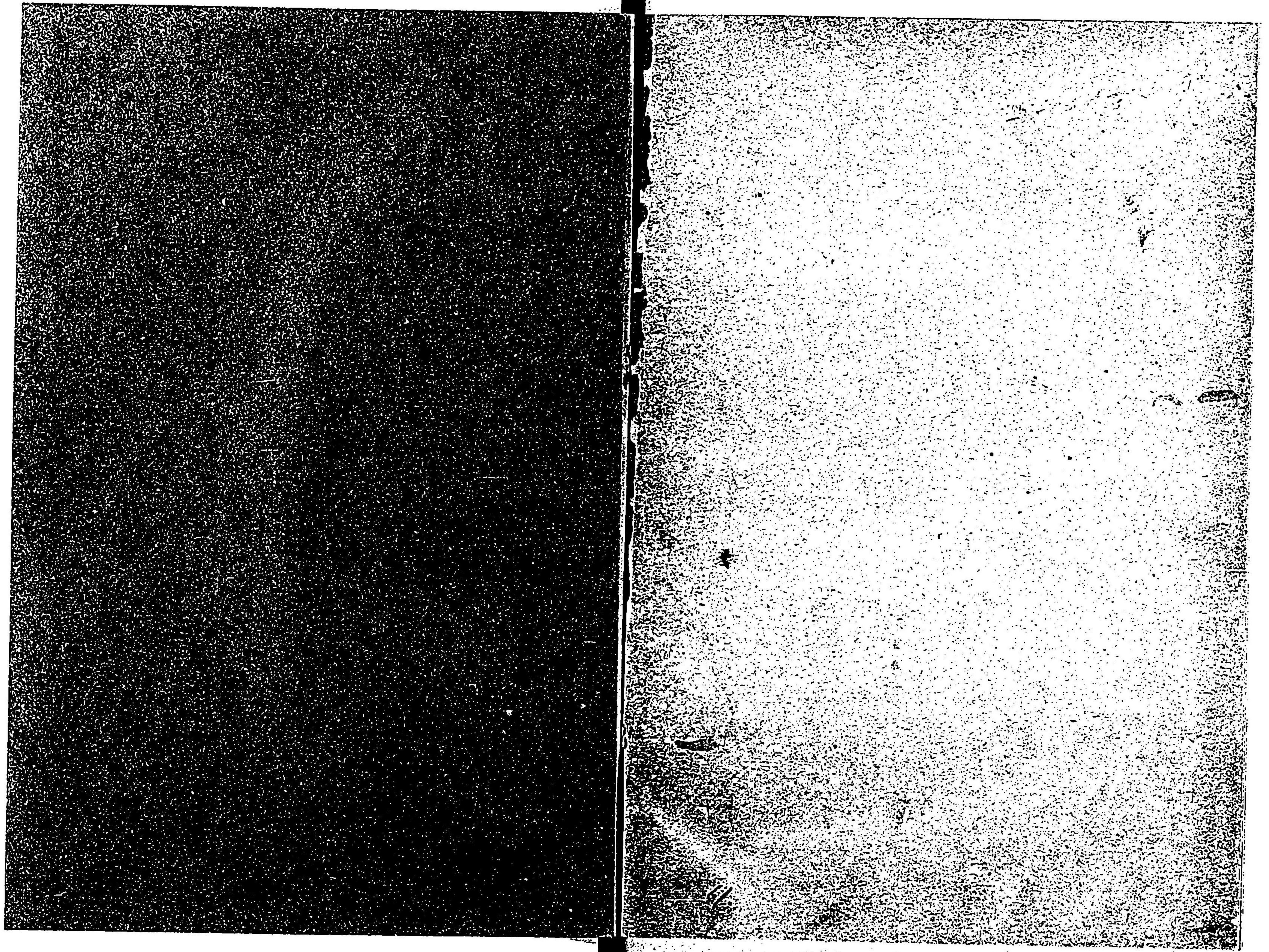
印刷者 佐藤 喜市

東京市京橋區八官町十九番地

印刷所 忠愛社

東京市京橋區八官町十九番地

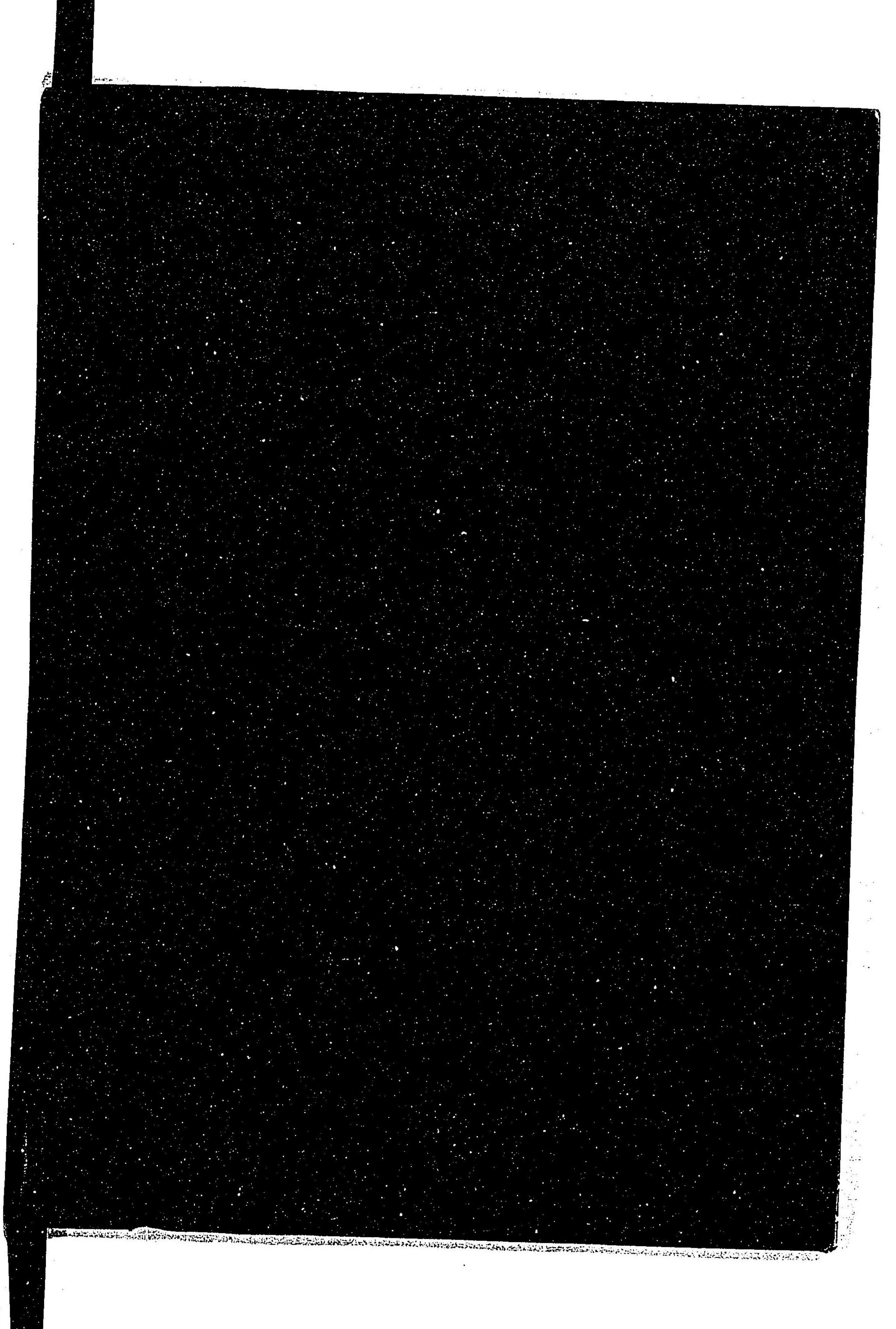
電話新橋四百九十八番



409

33





407

